



KEIKYU BUS

CORPORATION GUIDE

お客様の笑顔が 新たな伝統の礎に

1927年、京浜急行電鉄のバス事業として始動した京浜急行バスは、創業以来「安全・安心輸送」を徹底してまいりました。現在は「一般路線バス」、「空港・中距離バス」、「高速バス」を展開。2018年には羽田京急バス、横浜京急バス、湘南京急バスと4社統合し、輸送品質、接客サービス、利便性などあらゆる面での競争力強化を図るべく総力を結集しています。高速バスや空港バスなどのバス需要拡大に伴い、いま改めて上質なサービスが求められるなか、京浜急行バスでは「養成運転士制度」を設け、プロフェッショナル育成の土壌を整えています。また、お客さまに育てられた京浜急行バスの原点をつねに念頭に置き、社内の士気向上に努めていく所存です。京浜急行バスはこれからも、お客さまや地域への貢献を責務とし、全社員一丸となり新たな伝統を築いてまいります。

京浜急行バス株式会社 取締役社長 **平位 武**



お客様の期待に応える
バス会社であるために

- 安全・安心輸送に徹すること
- コンプライアンスを意識すること
- 親切・丁寧なサービスを提供すること
- 責任と自覚を持って積極的に業務を遂行すること

KEIKYU BUS TEAM RING

京浜急行バスはこれまで「安全・安心輸送」と「快適・便利なサービス」を軸に、事業展開してきました。

その基盤は「運転士」をはじめとする様々な分野の「チームの輪」によって構成されています。

そして各分野が互いに尊重し、支えあうことが事業の活性化につながり、ひいてはお客さまの満足度向上に寄与します。



最大の使命、安全・安心輸送に向けて

安全・安心輸送は私たちの最大の使命。
それは、細やかな運転操作と十分な整備環境、
効率的な運行管理によって初めて実現します。
セミナー、勉強会なども積極的に開催し、
各分野での安全意識向上にも努めています。



SAFETY

安全・安心を支えるために



北野 貴大 Takahiro Kitano

整備係・運行管理と共に安全・安心輸送を実現

お客さまを目的地まで安全に送りどけるのが運転士の最大の使命。アクセルやブレーキのタイミング、ハンドルの切り方など細心の注意を払い、緊張感をもって運転に臨んでいます。また、車内のほか車外の対向車や歩行者に注意をむける集中力も大切。運転技術だけの問題ではなく整備係・運行管理者との連携があって初めて、お客さまの安全が保証されます。

点呼システム



点呼実施事項の記録や、出庫時間が迫るとモニター上で警告を発する機能など、運行管理業務を補助します。

佐藤 将大 Masahiro Sato

精緻な点検・整備で
車両の不具合を洗い出す



整備士
Mechanic

バス車両は毎日の自主点検、3ヶ月点検、年に一度の車検で点検・整備しています。車内点検のチェックだけでも50項目以上。法律で定められた点検項目以外に、独自のチェック項目を設け、不具合を洗い出します。お客さまと直接関わることはありませんが、整備あつての安全・安心輸送だという自負があります。だからこそ、責任は重い。運転士からの現場の声も聞き、車両と向き合っています。

安全・安心

Safety and security

運転士
Driver

運行管理者
Vehicle operation administrator

運行管理のおもな業務は、ダイヤに沿った運転士の割り振りや渋滞が起こった際の車両の配車、入庫時の点呼など。滞りなくバスを運行するためには、ただ機械的に人員を配置するのではなく、時間帯や交通状況などを加味しなくてはならず、判断力も必要。また、運転士への気配りも運行管理には欠かせません。運転士に無理をさせない最適な割り振りが、結果的に安全な輸送業務につながります。

Junichi Kabaya 蒲谷 純一

判断と気くばりで
安全・安心につなげる



運輸安全マネジメント

運輸安全マネジメント制度とは、経営トップから現場まで一丸となり安全管理体制を構築・改善することにより輸送の安全性を向上させることを目的とした制度です。

運輸安全マネジメントについての取り組み

当社では輸送の安全の向上のためにPDCA (Plan・Do・Check・Act) サイクルの推進に努めています。年度毎に件数目標や重点的に削減する内容を定めた安全輸送計画を策定し、計画に沿って各営業所で事故防止に取り組みます。取り組み状況は常に本社と営業所で共有され、発生した事故の内容や傾向を確認し、事故防止のための取り組みを改善させていくことで、継続的改善を図っています。社長や安全統括管理者を中心とした本社部門と、運行管理者と運転士の現業部門が目標を共有することで、全社一丸となり安全・安心輸送を行います。



運輸安全マネジメント
詳細はこちらから



安全・安心の礎となる情報伝達・共有

職場環境を見直し無事故をめざす 事故防止サービス向上懇談会

運行・整備管理者が主体となり、運転士を対象に事故防止とサービスや知識・技能の向上を目的として毎月開催。職場で発生した事故や苦情、ヒヤリ・ハットの報告のほか、事故事例のドライブレコーダー映像をもとに再発防止に向けた指導や実車を使用した操作訓練、健康管理に関する教育などを行います。



事故や苦情の再発を防止する 事故防止サービス向上委員会

安全統括管理者ならびに管理部門の担当課員や各営業所の運行管理者が参加し、年9回開催。最近発生した事故や苦情について詳細な報告が行われ、再発防止に向けた検証に取り組みとともに、この委員会で得た情報を各職場での指導教育に活用します。



無事故を達成した職場の表彰などを行う 安全対策サービス向上委員会大会

社長以下、各営業所のスタッフや運転士の代表が参加し年2回開催。無事故の目標を達成した職場の表彰や、事故防止・サービス向上に関する活動の発表などを行います。



その他の取り組み

事故分析や指導に役立つ ドライブレコーダー・デジタルタコグラフ

万一、事故などのトラブルが発生した際に、状況確認とその原因を客観的に究明できる常時録画型ドライブレコーダーを導入。速度やエンジン回転数などを記録するデジタルタコグラフも搭載しています。



薬物乱用防止講習

公共交通機関を担う企業として、お客さまからの信頼を失わないだけでなく、社員の健康ならびに生活を守るため、警察官を講師に迎えて薬物乱用防止の講話を受けています。



乗務員の業務をチェックする 添乗指導・点呼指導

作業基準に定められた運行や入庫の点呼、お客さまへの注意喚起・マナーなどが適切に守られているかを、管理者等が抜き打ちでチェックし、フィードバックします。

次世代に受け継がれる 京急バス90年のノウハウ

バス運転士は運転操作のほか、危険予測能力や車内への配慮などが求められます。京浜急行バスは「養成運転士制度」を導入し、研修教育センターなどの教育施設を拡充。運転士の育成・確保に努めています。



TRAINING

指導教官

Instructor



養成要員

Trainee



接遇マナー研修・接客サービス向上研修

新卒で入社する運転要員は、免許取得要件を満たすまでの間、羽田空港でポーター係として勤務します。その期間に接遇マナー研修をおこない、接遇の考え方や基本動作を習得しています。また中途で入社する運転士には、入社時の導入教育の一環として接客サービス向上研修をおこない、身だしなみや接客の基本用語はもちろんのこと、実際に運転席でマイクを使用しお客さまが聞き取りやすい声の出し方を習得します。



坂口 治 Osamu Sakaguchi

指導した養成員の活躍を知ることが
教官にとってなによりの喜び

複数人の教官を配して、養成運転士の指導にあたっています。研修内容は机上教育と運転教育の2本柱。運転教育では車庫内教習のほか、実際に路線を回送する路上教習を設けており、実践的な環境で腕を磨けます。多くのお客さまに愛される人材を育成するのが教官に課せられた使命。羽ばたいていった養成運転士の評判を耳にすることもあり、それこそ、指導者冥利に尽きるというものです。

井田 陽一郎 Youichiro Ida

養成運転士制度のサポートが
幼少時代からの夢を後押ししてくれる

祖父が京急バスの運転士だったこともあり、京急バス運転士は幼少時代からの憧れ。現在はポーターの職務に就き、羽田空港リムジンバスの荷物の積み降ろしを担当しています。運転士との交流もさかんで、車内外への気配りや仕事への姿勢を間近で見ると憧れがより募ります。大型二種免許の取得も会社が支援してくれるから心強い。養成運転士になり研修を受ける日を待ち遠しく思います。

テロなどの発生に備える 非常事態への対応訓練

テロやバスジャックなど非常事態の発生を想定し、関係機関・本社への連絡体制の強化、被災者の救出や避難誘導の対処能力の向上などを図るため、警察や消防と対応訓練を実施しています。



無事故表彰制度

事故減少への取り組みとして、無事故運転に努めた運転士へ表彰金を授与し、事故防止および無事故へのモチベーションアップを図っております。

乗務員の知識・技能を磨く

安全運転研修

新入社員の乗務員に対して、2017年度より導入した危険予知・予測訓練ができるバスシミュレーターを使用し、起こりやすい事故・ヒヤリハットを体験しながら安全に対する意識向上を図り、新入社員以外も含め、ひたちなか市の安全運転中央研修所及び川崎市・小田原市の自動車教習所にて安全運転に必要な知識・技術の向上を実技等で学びます。また、エコドライブに対する意識向上を図るため、自動車メーカーで実施しているバス省エネ講習会に参加し、燃料消費が確認できる装置が付いた訓練車で検証します。



研修教育センター



2017年、衣笠十字路案内所に併設。施設内は30名収容の研修・教習室を設け、机上教育のほか、車庫内教習も実施しています。

シミュレーター



危険な状況を仮想体験することで防衛運転などを習得できます。仮定の運転コースは実際の路線に倣ったものです。

教習車



車体各所のLEDライトは、運転士の安全確認の教育に利用。燃料消費シリンダーを備え、省エネ運転の訓練にもなります。

お客様のニーズを見すえて もっと便利に、快適に

運行状況の発信や自治体との連携など、
さまざまなサービス、システムを利用し
利便性・快適性のさらなる向上を追求しています。



SERVICE

快適・便利を支えるために



高野 渚 *Nagisa Takano*

最高の乗車環境を目指し、運転士たちで創意工夫
安全運転はもちろん、お客さまに気持ちよく乗してもらいたいのも運転士の務め。訪日観光客の方には英語で声かけしたり、待ち時間中に車内清掃をしたり、運転士ひとりひとりが創意工夫して快適な乗車環境を目指しています。挨拶ひとつとっても、お客さまのとらえ方は千差万別。マニュアルだけにとらわれず、性別、年齢、国籍などを考慮した対応こそ100点満点の接客なのだと思います。

女性宿泊施設



羽田空港ターミナル間無料連絡バスの女性運転士増加に伴い設置。休憩室、入浴施設、仮眠室などを設けています。

運転士
Driver

快適・便利

Comfortable and convenient

本社勤務者
Head office staff

営業係
Sales

お客さまがバスを便利に活用できるよう、本社部門もまたサービス強化に努めています。ホームページでの運行状況や時刻表の情報発信、厳正な選考による人材発掘など欠かせない業務ばかり。また、お客さまのご意見は全社で共有し、業務改善に活かされます。2018年に新設された監査課は、お客さまの個人情報の徹底した管理を推進するなど、各部署のコンプライアンス体制を整備しています。

窓口業務のほか、電話でのお問合せに対する対応も行います。売上の集計は正確さが求められる大事な業務です。また運賃箱の修理をすることもあります。お急ぎの方には簡潔に、慣れていない方にはわかりやすく心をかけており、そのためには業務への理解が肝心です。お客さまに感謝されたとき、この仕事をやってよかったと思います。

Tomoka Ito 伊藤 友花

つねにお客さま目線で
多彩な業務に対応する



京浜急行バスのさまざまなサービス

バスをスムーズに運行させる 公共車両優先システム(PTPS)

警察や国、自治体と協力し東京都内と横須賀市内の一部区間に導入。バスの定時性を向上させることで、交通量抑制と排出ガス削減などが期待できます。



Wi-Fi

訪日外国人の増加により、旅先でのインターネット利用環境に対する需要が高まっていることから、空港・中距離バスおよび夜間高速バスにフリーWi-Fiサービスを2018年4月から導入しました。より便利なインターネットの利用環境を提供いたします。



OBC-VISION

フルカラー表示で見やすく、多言語での表記や、1円単位運賃の案内が可能なOBC-VISIONをほぼ全車両に導入し、ご利用のお客さまの利便性向上を図っております。



多言語に対応した自動券売機

羽田空港および横浜駅に導入。英語・中国語・韓国語・日本語の四言語に対応しています。訪日外国人の利用しやすさを追求し、停留所等の検索機能を各言語の特徴ごとに対応しています。また、クレジットカード決済機能も搭載しています。



最新の運行状況などを提供する バスロケーションシステム

携帯電話・スマートフォン・パソコンでバスの現在地が確認できるバスロケーションシステムを2017年3月全ての一般路線で導入完了。大型表示器を待合所に設置する等、更なるサービス向上に努めております。



LINE UP

暮らしを支える多彩なバス事業



日常生活も行楽も、京急バスは暮らしのそばに

私たちは一般路線バス、高速バス、空港リムジンバスなど、多彩な運行スタイルで事業展開しています。日々の生活から行楽の交通手段まで、全国に広がるネットワークを通じて、お客さまに快適な時間をご提供します。

東京都南東部・三浦半島を走る 一般路線バス

東京都南東部から三浦半島まで、湾岸一帯を中心に地域をしっかりと見つけた、きめ細かなネットワークを整備。日々の暮らしの原動力となる輸送サービスを展開しています。

【東京都内ルート】

東京都南東部のベイエリアを走る一般路線バスは、多様な工場が集積する京浜工業地帯や“東京の台所”といわれる大田市場、日本の先端技術を支える町工場が集まる下町への足として、日夜お客さまの暮らしをサポート。人気観光スポットのお台場へもご案内しています。

【横浜・三浦半島ルート】

都市・海・山などさまざまな変化する風景のなか、横浜・鎌倉から三浦・三崎まで三浦半島をくまなく運行。地域のお客さまの生活に欠かせぬ足の役割はもちろん、自然あふれる観光スポットをめぐる、三浦半島周遊のお供としても重要な役目を担っています。

東京

- 1 大森営業所
- 2 羽田営業所
- 3 京浜島営業所 (空港リムジンバス)

横浜・三浦半島

- 1 新子安営業所 (高速バス・空港リムジンバス)
- 2 杉田営業所
- 3 追浜営業所
- 4 能見台営業所
- 5 鎌倉営業所
- 6 逗子営業所
- 7 衣笠営業所
- 8 三崎営業所
- 9 久里浜営業所
- 10 堀内営業所

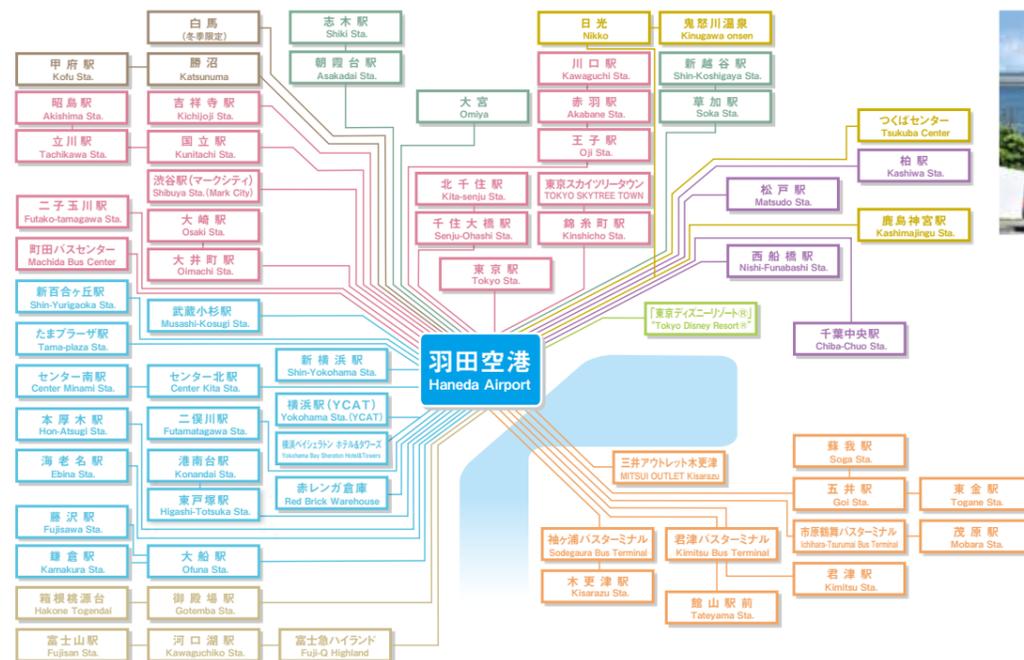


プランに合わせて使える 貸切バス

気の合う仲間同士の気ままな旅から、社員・研修旅行、学校の遠足や修学旅行までプランや人数に合わせた快適な旅をお手伝いします。

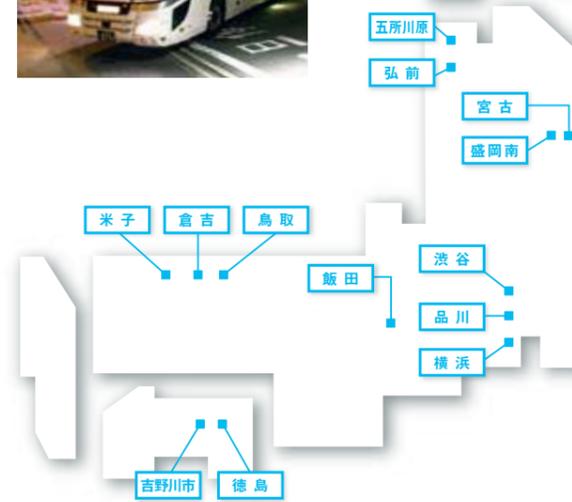
空の旅のベストパートナー 空港リムジンバス

充実のネットワークで首都圏各地と空港をつなぎ、多くのお客さまにご利用いただいています。必ず座れて乗り換えがなく、大きな荷物もトランクに収納できるため、快適に乗車できるのが魅力です。



心地いい時間が過ごせる 高速バス

東京・横浜と各地を結んでいます。車内はリクライニング機能付きの3列独立シートを採用。また、無料Wi-Fiを完備し、お客さまの快適な旅をサポートします。



乗り換えなしでアクセスできる 東京ディズニーリゾート・お台場直行バス

日本有数の人気スポットへ、バスならではのダイレクトアクセスを実現。必ず座れて複雑な乗り換えもなく、お子さまをお連れのお客さまから好評を得ています。



「東京湾アクアライン」を経由する アクアラインバス

品川・横浜・羽田空港から房総各地まで、最短ルートとなる「東京湾アクアライン」を経由。通勤・通学はもちろん、レジャーやショッピングなど、あらゆるニーズにお応えします。



CSR REPORT

京浜急行バスのCSR活動



環境への配慮をいつも大切に

排出ガスの削減や燃料消費の抑制につながるバスの導入や運転、水やペットボトルの再利用など環境保全への取り組みを積極的に進めています。

排出ガスを削減する ハイブリッドバス

窒素酸化物などを多く排出する従来型のディーゼル車に比べ、排出ガスを大幅に削減し燃料消費を抑制できるハイブリッドバスを導入。国や東京都などが進める環境性能を飛躍的に向上させた次世代バスの開発・普及にも積極的に取り組んでいます。



資源を有効に使う 水の再利用

バス洗車1回に必要な量といわれる約300ℓの水からおおよそ50%を回収・整水し、改めて洗車のために活用。効率的に水を再利用することで、資源の有効な使い方を実践しながら使用量の削減を進めています。

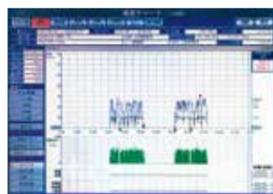


粒子状物質や窒素酸化物の排出量が少ない 排出ガス後処理システム

排出ガスはPM(粒子状物質)やNOx(窒素酸化物)が発生するため、高耐熱性セラミックフィルターでPMを捕集・燃焼させ、PMを低減させる装置と、水と窒素に分解する尿素水を用いてNOxを低減させる装置を組み合わせた排出ガス後処理システムにより排出ガスをクリーンにしています。

環境負荷の低減に欠かせない アイドリングストップ・デジタルタコグラフ

排出ガスの削減や燃料消費の抑制のため、始発停留所や待機場所などで停車中のエンジン停止を徹底しています。また運行中の信号待ちや交通渋滞による停車の際に、エンジンが自動停止するアイドリングストップバスを1995年度から導入。このほかバスの速度やエンジン回転数を記録するデジタルタコグラフを搭載し、無駄な燃料消費のチェックを行い、運転士への運転指導をしています。



津波避難訓練

沿岸部を走行中に津波警報が発令された場合を想定し、高台への避難誘導を行う訓練です。バスは様々な場所を走っているため、1台毎に詳細な避難指示を行うことができないことから、運転士が自己の判断で避難し、乗客と自身自身の命を守ることを目的としています。



交通キャンペーン

年末年始の安全総点検運動の一環として毎年12月に実施。当社バス主要駅周辺で、職員が歩行者に交通安全の呼びかけを行うとともに、安全啓蒙を促すオリジナルグッズを配布します。



きめ細やかな輸送サービスを目指して

Caring

高齢者やお子さま、障害のある方も含めすべてのお客さまがより快適に安心して利用できるよう、ノンステップバスの導入を中心にバリアフリー化を推進しています。

1 車椅子の方でも安心して利用できる スロープ板付バス・リフト付バス

中扉にスロープ板を設置できるバスを100%導入しています。スロープ板が取り付けられないタイプの車両には、代替としてリフトを設置します。また、リフト付空港リムジン車両も導入しています。

2 年配の方やお子さまでも乗り降りしやすい ノンステップバス

高齢者やお子さま、障がいのある方も含めすべてのお客さまがより快適に安心して利用できるよう、ノンステップバスの導入を中心にバリアフリー化を推進しています。



3 LEDの採用 ヘッドライト・室内灯

ヘッドライトに採用することで、夜間等の視認性をあげ、安全性を向上し、室内灯ではちらつきがなく目に優しいため快適な車内環境に貢献します。LEDは長寿命のため、従来の電球や蛍光灯交換による廃棄物を減らしています。

4 ベビーカー

車内に固定用補助ベルトを設置し、ベビーカーをたたまずにご利用いただけます。



地域に愛されるバスであるために

Beloved

お客さまの多種多様なニーズに配慮した割引制度の実施や京急ファミリー鉄道フェスタでバス会社ならではのグッズ販売もおこなっています。

1 70歳以上のお客さまがお得に使える ふれあいバス

半年間一般路線の全線を乗り放題で利用できる乗車券を、70歳以上のお客さま対象にリーズナブルな価格で販売。区間や回数の制限はありません。(販売期間:6月~7月、12月~1月)

2 100円1枚で乗車できる ワンコインバス

蒲田・羽田空港・みなとみらい・浦賀・久里浜・大森駅、平和島駅~BIG FUN・ポートレース平和島劇場(直行バス)の6つのエリアで、100円1枚だけで乗車できるワンコインバスを実施。荷物が多い場合や天候が悪い時など、手頃な運賃で気軽にバスを利用できます。

3 バス会社ならではの商品が揃う 京急ファミリー鉄道フェスタ・グッズ販売

毎年開催される京急ファミリー鉄道フェスタでは、バス会社ならではの幅広いオリジナルグッズを製作・販売しております。バス部品などの即売を実施し、好評を得ています。



4 休日の家族利用を促進する 環境定期券割引

土・日・祝に一般路線を利用する際、通勤定期券があれば同居の家族全員が1名100円(小児50円)で区間に限らず乗車可能。自家用車ではなく環境に配慮したバスの利用を促し、排出ガス削減につなげます。

5 大人1名で小児1名が無料になる ファミリー運賃割引

学校の春・夏・冬休みとゴールデンウィークの期間に、定期券以外で一般路線を利用すれば、大人1名につき小児1名の運賃が無料に。小学生2名がいる家族4名の場合、大人2名分の運賃で利用いただけます。



良質なサービス・商品の提供により、 皆さまの生活に貢献する京急グループ。

京急グループは、鉄道、自動車などの交通事業を中心に、不動産、ホテル、レジャー、流通など様々な事業を展開しています。「都市生活を支える事業を通して、新しい価値を創造し、社会の発展に貢献する」という経営理念のもと、「都市生活創造企業グループ」へと発展を遂げています。近年、規制緩和や効率化などにより、経営環境は大きく様変わりしています。それらの変化に対応すべく、京急グループでは、分社化やアウトソーシングなど効率的な事業運営、コーポレート・ガバナンスやコンプライアンス、個人情報保護、危機管理体制の構築などを行いながら、グループ経営を一層強化しています。また、環境対策やバリアフリー対策などの社会的課題にも積極的に取り組み、「地域密着・生活直結」型企業集団としてグループ経営を進化させ、企業価値の最大化を目指してまいります。



詳しくは、京浜急行バスホームページをご覧ください



KEIKYU

京急バス